

新人歓迎山行 浅間隠山

報告：時 津

I. 日程

2008年10月26日（日）曇

II. 参加者

阿部（L）、東川、F、松田、中村、浜野、蓑島、Q、平野、小川（国）、葦塚、吉田、時津

III. 行程

旧桜木公民館前集合（6：10）⇒出発（6：20）⇒関越自動車道⇒高崎 I.C.（7：50）⇒二度上峠（9：10）⇒出発（9：25）⇒稜線（9：40）稜線⇒浅間隠山山頂（10：50）⇒うどんパーティー⇒下山開始（12：15）⇒二度上峠（13：10）

IV. 報告

大宮から車3台に分乗し、川越 I.C.から関越道、高崎 I.C.を經由し、一路登山口である二度上峠を目指す。

二度上峠の駐車スペースは10台程度。9時ごろ到着したが、既に7割程度埋まっていた。ここで身支度と食糧の分配を行い、出発の準備にかかる。やや肌寒く、ウインドブレーカーを着込む。

登山道は沢沿いを稜線まで詰めるところから始まる。唐松の落ち葉が絨毯のように敷き詰められた歩きやすい道をしばらく歩くと稜線に出る。稜線ははじめ膝くらいまでの笹原にルートが切っており、所々直登の近道とジグザグの緩斜面に分岐するが、すぐに合流しほとんど違いはない。

山頂直下は木の根が張ったやや急な斜面で、最後のひと頑張りが必要といったところだが、かかる時間はほんのわずかだ。

山頂では用意していただいたうどんを皆で調理していただく。鴨ダシのツユと、豊富に入ったネギ、里芋といった具がぜいたくなうどん、体も暖まりとてもおいしくかった。

相変わらずの曇天であるが山頂の展望は非常に良い。間近に見える浅間山はもちろん、ゴツゴツした山容の妙義山、雲に頭を隠した八ヶ岳、テーブル状の山頂が特徴的な苗場山など、多くの山々を目にすることが出来た。

下山は最初の急斜面を気をつければ後はスムーズで、1時間弱で登山口に到着。帰りも早く出発できたため、渋滞に巻き込まれることなく順調に大宮まで到着することができた。